



2024年2月14日

各位

会社名 株式会社 Robot Home
 代表者名 代表取締役 CEO 古木 大咲
 (コード番号：1435 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役執行役員 CFO 安井 慎二
 (TEL. 03-6447-0651)

中期経営方針の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、今後の成長に向け2024年から2027年の中期経営方針を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

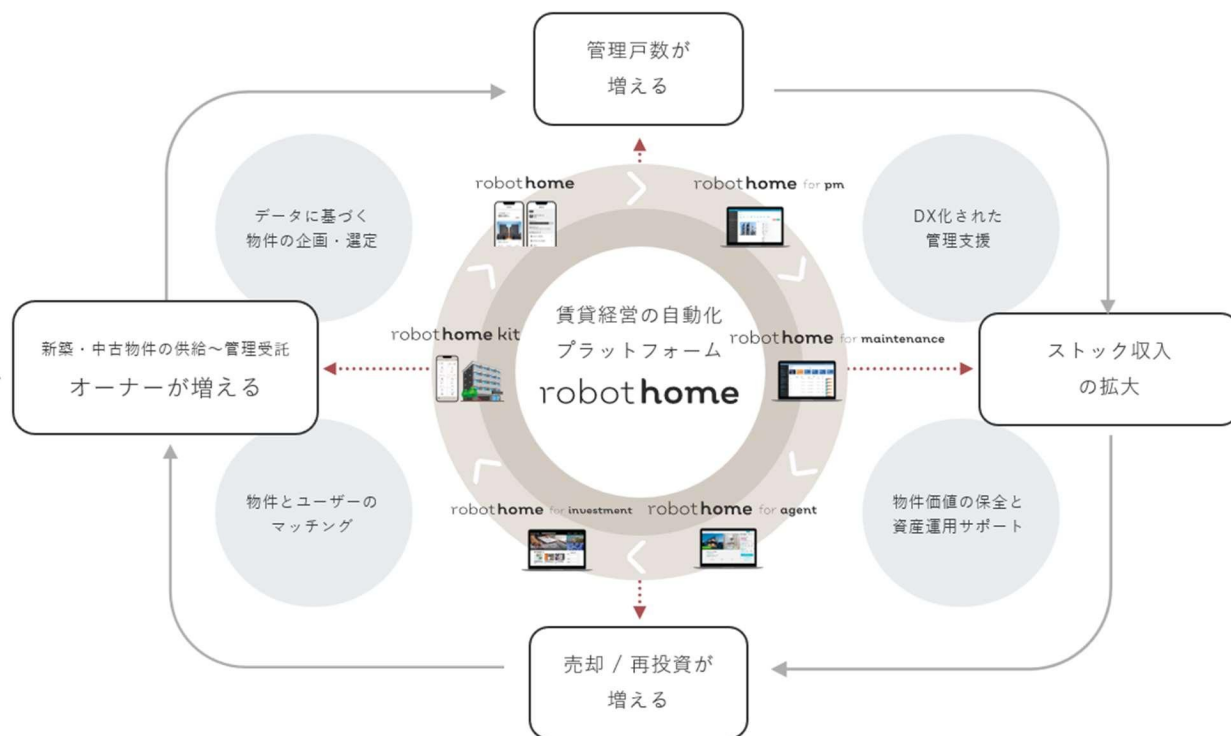
記

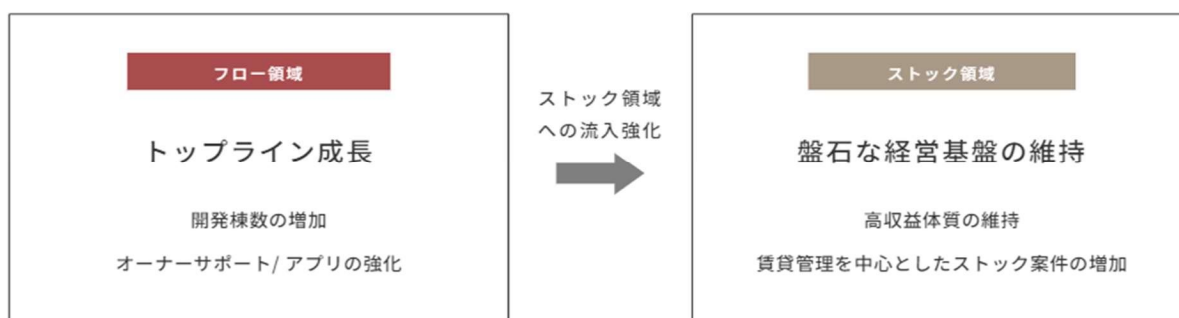
1. 中期経営方針の概要

当社グループでは、管理戸数及びIoT導入戸数の増加を前提とした、ストック型ビジネスの収益拡大を事業戦略の基本方針と位置付けております。プラットフォームの構築により、フロー領域でのトップラインが成長することで、ストック領域における収益基盤がさらに拡大していく好循環サイクルが形成されているため、今後更なる企業価値向上のためには、「フロー領域におけるトップラインの成長」と「ストック領域における高収益体質の維持」が必要不可欠となります。

そのため、フロー領域への人材・IT投資を加速することによる投資用不動産の開発体制を早期に構築し、フロー領域のトップラインの成長を基にしたストック領域の収益拡大を目指してまいります。

好循環サイクルによるプラットフォームの成長





2. 中期経営方針の概要（数値目標）

フロー領域とストック領域 ※について、下記の通り数値目標を定めております。

	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	
フロー領域	開発棟数	60棟	100棟	140棟	200棟
	フロー売上高 ^(※1)	90億	150億	210億	300億
ストック領域	増加管理戸数（年度） ^(※2)	600戸	1,000戸	1,400戸	2,000戸
	増加管理戸数（累計）	600戸	1,600戸	3,000戸	5,000戸
	ストック粗利増加額（年度） ^(※3)	0.54億	0.9億	1.26億	1.8億
	ストック粗利増加額（累計）	0.54億	1.44億	2.7億	4.5億

【算出前提条件】 (※1) 新築1棟あたり1.5億の売上高 (※2) 新築1棟あたり10戸の仕様 (※3) 戸あたり90,000円の粗利額

※ フロー領域及びストック領域の定義については 2024 年 2 月 14 日に開示しております「2023 年 12 月期 決算説明資料」の P5 をご参照ください。

(<https://corp.robothome.jp/ir>)

以上

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。